

令和5年度第78回北海道教育研究所連盟研究発表会（十勝大会）
兼第65回全国教育研究所連盟北海道地区研究発表大会



「つながり」 を踏まえた効果的な研修

～同校種連携（幼幼、小小、中中高）や
学力向上の実践交流の推進による標津型学習スタイルの充実～

令和5年9月1日(金)
標津町教育研究所

標津町教育研究所について

1 運営方針

標津町の基本理念を実現するために、「理論と実践」の研究を行い、教育の推進に努める

【標津町の基本理念】

豊かな教育の推進により、ふるさと標津の未来を担い、

自ら学び続ける人を育み、共に支え合うまちづくりをめざす



【今年度の変更①】部会の再編成

【標津町の基本理念】

豊かな教育の推進により、①ふるさと標津の未来を担い、②自ら学び続ける人を
育み、③共に支え合うまちづくりをめざす

教育課程部会

研究部会

生徒指導部会

①ふるさとの標津の未来を担い、

②自ら学び続ける人を育み、

③共に支え合う

【今年度の変更点②】教育実践研究会の廃止



実践発表する学校は、学びもあるが、負担も大きい。

参加校は、1日臨休体制で参加するが、自分事として主体的に関わる場面が少ない。

実践校以外の学校の実践があまり見えない。

「つながり」を踏まえた効果的な研修

～同校種連携（幼幼、小小、中中高）や

学力向上の実践交流の推進による**標津型学習スタイル**の充実～

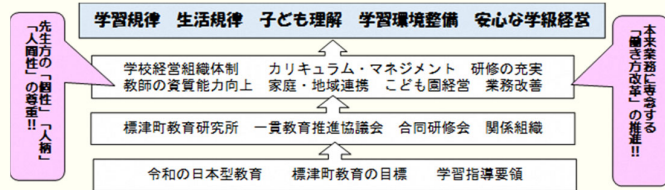
標津型学習スタイル

～令和5年度ダイジェスト版～

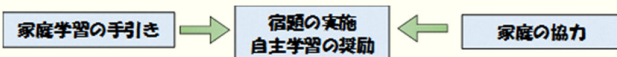
❶「標津町統一研究テーマ」を共有します。

「生きる力」を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す
「標津型学習スタイル」の創造
～問題解決的な学習を中心に据え、ICT環境の積極的な活用を通して
「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践を推進する～

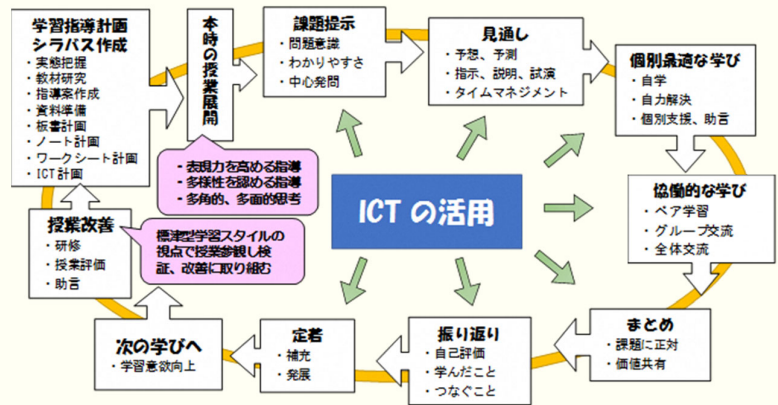
❷「学びの土台」をつくります。



❸「家庭学習の定着」を図ります。



❹「問題解決的な学習」で実践します。



❺「読解力」を高めます。

読書活動の推進 物語教材指導 想像力の育成
文章問題・記述式問題の取組 「書くこと・話すこと」表現力指導

教師一人の力が伸びることで、みんなの力が伸びます。授業を見合う横（自校）と縦（校種間）のつながりが大切です。標津の子どもたちのために「主体的に学ぶ授業づくり」を実践しましょう！
標津町教育委員会

令和5年度 標津町教育研究所の 取組について

「つながり」を踏まえた効果的な研修

～同校種連携（園園、小小、中中高）や学力の向上の実践交流の
推進による標津型学習スタイルの充実～



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

研究所の研究テーマである
「『つながり』を踏まえた
効果的な研修の実現」に向け、

- ① **同校種連携を図る**ために
- ② **ICT**を活用しながら
- ③ 両校での「**個別最適な学び**」「**協働的な学び**」
の実現に向けた研修の充実
に寄与する取組を行う。



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

標津町の現状

- 標津地区・川北地区にそれぞれ一園・一校体制
- それぞれの地区は約10km離れている。
- 両地区に園・小・中一貫教育推進協議会があり、
縦のつながりはできている。
- 両地区の小・中学校は、それぞれ単学級



課題 特に若い教員にとっては、学校に同学年・同教科の相談できる相手が少ない

同校種連携の必要性



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携を例として

それぞれの学校の研修について

標津小学校

「自分から進んで表現する子どもの育成」を研究主題として設定し、見通しを立てたり振り返ったりする学習活動を計画的に位置付けることや思考し、表現する力を高めるモデルを活用することを通じ、主体的・対話的で深い学びを目指すための研修を行っている。

川北小学校

川北小学校では、単元内自由進度学習の「マイプラン学習」、児童主体の学びになるよう「子ども先生学習」、異学年グループで自主的な学びを行う「学びタイム」の取組を行い、『個別最適な学び』『協働的な学び』の在り方についての研修を進めている。



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携を例として

方法や内容は、それぞれ違うけど・・・

それぞれの学校の研修の過程や成果を共有できれば・・・

授業改革がより進むのではないか。

標津町の子どもたち・保護者・先生方

みんながHAPPY!



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携を例として

Teams上に「小・小連携チーム」を作り、各校の研修部の協力のもと、

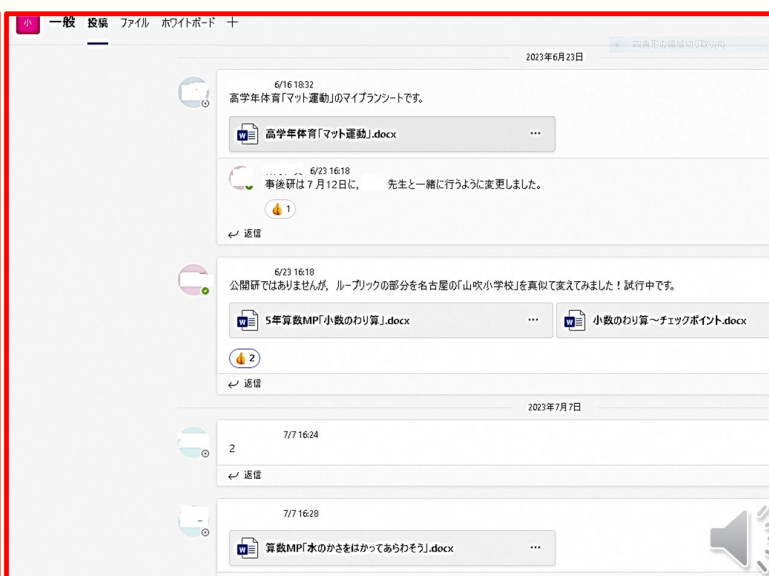
①研修内容・計画を共有

②指導計画・指導案を共有



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

Teams上に研修内容・計画・指導案等をアップし共有



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

Teams上に研修内容・計画・指導案等をアップし共有



名前	更新日時	更新者	+ 列の追加
クラスの資料			
標津小学校 研修	5月11日		
1年 かたちあそび.docx	3 時間前		
2年MP「長さをはかってあらわそう」.docx	5月24日		
4年生 色の見方.docx	3 時間前		
5年 大連じいさんとガン.docx	3 時間前		
5年MP「直方体と立方体の体積」.docx	5月2日		
5年算数MP「小数のわり算」.docx	7月5日		
シラバス「授業文を書こう」.xlsx	3 時間前		
研究所研究部授業づくりカフェ振り返りア...	約 1 時間前		
高学年体育「マット運動」.docx	6月16日		
国語科学習指導案(3年 ばめんのつながり...	4 時間前		
算数MP「水のかさをはかってあらわそう...	7月7日		
小数のわり算～チェックポイント.docx	6月23日		



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

その結果

この先生ってどんな方？

マイプラン学習ってどうやってるのかな？

国語のシラバスってどうやって作ってるのかな？



両校の先生方が
授業づくりに
ついて交流する
機会を！

研究所研究部主催

小・小連携授業づくりcafe開催



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携

授業づくり
cafe

について

標津教育研究所
小小連携 第1回『授業づくり CAFE』

日時 令和5年7月27日(木)9:30~12:15
場所 標津町生涯学習センター「あすばる」
内容 2学期に向けた授業づくり
日常の悩みの相談 等

授業づくりを通じて
対話を行い、日常の
授業を視直す機会と
しませんか？

日程の詳細

- 9:30~開会式・日程説明
- 9:40~アイスブレイク
- 10:00~授業づくり・悩み相談
(臨時休憩)
- 11:45~全体交流
- 12:00~閉会式

内容等について

- 当日は、標津小と川北小の教員で、学年もしくはブロックごとの3~5人のグループを作り、授業づくり(単元計画)について話し合います。
- 何の教科(国語・算数)のどの単元計画を作るのかは、グループで話し合ってから決めます(複数でも可)。
- 持ち物
 - 国語、算数の学習指導要領解説
 - 担当学年の教科書・指導書
 - タブレット
 - 筆記用具
 - 飲み物

参加申し込み

下記の二次元バーコードを読み取り、必要事項を記入の上、お申込み願います。



このことに関わってには大変な点がございまして、標津教育研究所 研究部(川北小 85・2019 担当佐藤)までお問い合わせ願います。



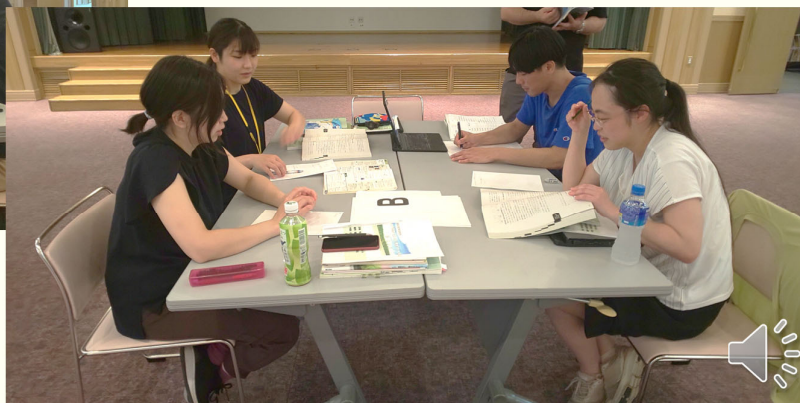
令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携授業づくりcafeについて~アイスブレイク



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携授業づくりcafeについて～授業づくり交流



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携授業づくりcafeについて～授業づくり交流



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携授業づくりcafeについて

～取組を次に「つなげる」ために～

- ・ 今回の研修会で作成した指導案・学習計画等が完成したらTeamsで共有する
- ・ その単元を学習する日時をTeamsでお知らせし、授業を 公開する



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携授業づくりcafeについて～アンケートから

まず、川北小学校の先生と顔見知り
になれたことが良かったです！

また、お互いの授業作りを交流でき
て、大変刺激になりました。



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携授業づくりcafeについて～アンケートから

授業の構成について、細かく身に付けたい技能や生かせる活動について助言が聞けたので、とてもありがたい時間になりました。

また、授業の話だけでなく、日頃の悩みや子どもへのアプローチの手段なども聞くことができたので良かったです。



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

小・小連携授業づくりcafeについて～アンケートから

高学年の先生方で、国語の大造じいさんの単元について、考えました。日頃の学習を振り返って、この学習ではこの指導方法やICTを活用できるかもという考えをいただいて、指導についての考えをアップデートすることができました。また、川北小での学習法はなども聞くことができ、参考したいところもあったので、今後も連携の研修に参加したいと思いました。



成果

ICTを活用し各校の研修を「つなぐ」ことで、より多くの意見等が集まり、各校が単独で研究を進めるより、効率的に『個別最適な学び』と『協働的な学び』を作っていくための研修の充実を図ることができた。



課題

ICTの活用により同校種間の連携が図られるようになり、それぞれの学校の研究の概要をこれまで以上に知ることができたが、より深く理解し自らの授業の改善につなげる必要がある。



令和5年度の標津教育研究所研究部の取組について

今後に向けて

ICTの活用を進めつつ、各校の教員の対面による交流も計画的に設けることで、これまで以上に「つながり」の場面を作り、両校の研究推進と各教員の授業力の向上を図りたい。



令和5年度 標津町教育研究所の 取組について

「つながり」を踏まえた効果的な研修

～同校種連携（園園、小小、中中高）や学力の向上の実践交流の
推進による標津型学習スタイルの充実～

